

出張報告書

No 7857245 ✓
議員出張～

下 関 市 議 会 議 長 殿

令和2年 2月18日

職氏名 林 真一郎	用 務 宇都宮市の「小中一貫教育・ 地域学校園」の概要について
期 間 令和 2年 2月18日から 令和 2年 2月18日まで	出張先 栃木県 宇都宮市

栃木県 宇都宮市

調査日 2月18日 (火)

講 師 宇都宮市教育委員会 学校教育課 指導グループ

副主幹・指導主事 津久井 文 氏

事務局担当者 政策調査課 政策調査グループ

主任 片岡ゆりえ 氏

意見・調査事項

《調査事項》

- (1) 導入経緯等 平成19年 「宇都宮市学校制度基本計画」を策定すると共に小中一貫教育実施を発表 【三鷹市方式を採用】



20年には「小中一貫教育カリキュラム作成」、21年には
中学校区毎に25地域学校園設定《分離施設型：学区従来通り》
(内訳：1中2小⇒10、1中3小⇒12、1中4小⇒3)

22年 6モデル地域学校園で先行実施、検証

24年 全地域学校園で実施

(2) 三本柱の導入期の指標～検証結果

不登校児童生徒数

平成21年 小6年生34名⇒平成22年中1年生103名で 3.03倍

学習内容定着度調査：算数・数学正答率 50%未満

平成21年 小6年生2.8%⇒平成22年中1年生11.3%で 4.04倍

学習と生活アンケート：学習が好きと回答した肯定的割合

平成21年 小6年生72.3%⇒平成22年中1年生48.2%で 24.1%減

平成24年度において、学習内容定着度調査では、2.9倍へ
いじめの状況も、4.3倍が1.9倍へ減少⇒制度導入の効能有

(3) 小中一貫教育カリキュラムの実施

◆児童生徒の学力保障を目指し、国の標準時数より小学校で
20時間、中学校で15時間 授業時数増加を実施。

◆4・3・2制：子供の実態、学校・地域の実情を踏まえて

◆「宮・未来キャリア教育」「宮っ子心の教育」「元気アップ教育」の
教科横断的学習実施。

◆小学校外国語活動：1・2年生⇒10時間、3・4年生⇒35時間
5：6年生⇒70時間

(3) 土曜授業の実施（年1回全市一斉、各学校裁量で年間10回迄）

地域の教育力を生かした教育活動推進、家庭・地域の理解を
深めるため。

(4) 小6の進学先中学校訪問

進学への期待を高めること、不安を解消することを目的に
全市一斉実施。バス借上配車等交通移動助成有。

(5) [小中一貫の日]制定

地域学校園教職員が効率的に打ち合わせ等行えるように
月1回程度実施

(6) 小中一貫教育推進主任設置

小中教職員が制度の趣旨に応じた取り組みを円滑に進める
ことが出来るよう、地域学校学園全体のコーディネート

(感想) 2018年11月に、本件内容で 東村山市、三鷹市を訪問しています。

東村山市は市立第二中学校と市立第四小学校の校舎を繋ぎ、 施設一体型 小中一貫校 村山学園としてH22 開校しています。



写真左は、齊藤実校長の下で作成されたH25とH30の学園組織と教育活動を示したパンフですが大きく進化の跡

が伺えます。特に宿泊学習・校外学習において小学4年生から様々な体験出来るよう工夫されています。昨今の**学習成果**として、①地域の行事に積極的に参加すること。②授業の準備を自ら行うことが出来るようになっている。点をあげられていました。**授業対策**：自宅に学習環境が整っていない生徒への自習コーナーや5000種類に及ぶ教材(プリント)を用意、1～9年生まで在籍する環境の中、上級生が下級生の学習援助等で目標とする(憧れる)先輩の存在となる等効果を発揮しているとのことでした。

三鷹市は 小学校15校(児童数 8,920人)、中学校7校(生徒数 3,228人)教員数 小：約400人、中：約200人で構成されています(H30.5)。それぞれ校区内の小学校とH21.9迄にそれぞれ小・中一貫教育を行う学園となりました。

児童生徒はそれぞれ旧来の学校へ通い、それぞれの諸行事も学校毎に行う学園の記章・旗・園歌等は制定されているがそれぞれの学校のそれらも現存。それぞれの校長先生の中から統括学園長を決め、他は副学園長となる義務教育9年間の学びと15歳の姿に責任をもった教育を実現する為のカリキュラム策定を行う

下関市の制度導入方針決定に注目しています。